

第118回 (令和元年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

<問題>

- 1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	基準数	作業数	完成数
101	石川 正義	1,950	2,095	2,036
102	西本 明子	2,100	2,196	2,084
103	小笠原 誠	1,870	1,972	1,896
104	森 さつき	2,050	2,107	2,023
105	杉田 加奈	1,680	1,864	1,762
106	村上 勇氣	2,130	2,085	2,000
107	鈴木 政治	2,160	2,208	2,050
108	大山 光代	2,190	2,176	2,137
109	大和田 哲	1,790	1,981	1,861

<出来高単価表>

完成数	出来高単価
2,050以上	81
2,000以上 2,050未満	78
1以上 2,000未満	75

<評価表>

査定値	総支給額	評価
200未満 かつ 22万以上		***
200未満 かつ 20万以上 22万未満		**
それ以外		*

<処理条件>

- 1. <出力形式1>のような社員別作業データ表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 2. 査定A = 完成数 ÷ 作業数 × 100 (整数未満切り上げ)
査定B = 完成数 ÷ 基準数 × 100 (整数未満切り上げ)
査定値 = 査定A + 査定B
- 3. 合計を求めなさい。
- 4. <出力形式2>のような総支給額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 5. 完成数・査定値は社員別作業データ表を表検索しなさい。
- 6. 出来高賃金 = 出来高単価 × 完成数 ※出来高単価は<出来高単価表>を参照する。
技能手当 = 出来高賃金 × 17% × 査定値 ÷ 200 (10位未満四捨五入)
勤勉手当 = 150 × 査定値
総支給額 = 出来高賃金 + 技能手当 + 勤勉手当
- 7. 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 8. 合計を求めなさい。
- 9. 総支給額の降順に並べ替えなさい。
- 10. 総支給額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
- 11. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 12. <出力形式2>の総支給額を社員名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の総支給額”とし、凡例は“総支給額”とする。

<出力形式1>

社員別作業データ表

CO	社員名	基準数	作業数	完成数	査定A	査定B	査定値
(途中省略)							
—	合計						

<出力形式2>

総支給額一覧表

CO	社員名	完成数	査定値	出来高賃金	技能手当	勤勉手当	総支給額	評価
(途中省略)								
—	合計							

<出力形式3>

完成数が2,050未満の出来高賃金の合計	
勤勉手当が29,000円以上の総支給額の最大	